

活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	地域部会（千葉中央・九十九里部会）		
タイトル	7月度例会＋フォローアップセミナー		
実施日時	平成28年7月24日（日）10時～14時		
実施場所	千葉市 稲毛浅間神社とその周辺、稲毛海浜公園内の観察		
受講者	—	FIC会員他スタッフ	8名

活動の内容

薄曇りの中、集合場所間違いによる若干のトラブルはありましたが、浅間神社へ集合、参拝してから、徒歩で千葉市民ギャラリー・いなげに併設されている、“旧神谷伝兵衛稲毛別荘”を見学しました。

神谷伝兵衛は、日本の「ワイン王」と言われ、現在の、合同酒精につながる人物です。別荘は大正12年（1923年）に建てられ、外観は洋風のタイル貼り、中の1階は無垢板寄木貼の床・漆喰天井の洋室仕上げ、2階は和室で、葡萄の床柱・鉄刀木（カヤシ）の障子棧が印象的でした。当時は眼前の14号国道中央分離帯から先が、海であったとの説明から、風光明媚な海の避暑地であったと推測されます。

続いて、隣接する、いなげ公園の松林を散策しました。長年の風雨により、洗い流されて根本がむき出しになった「根上りの松」を観察することができました。根の上り程度は、子供がもぐれる位の樹木もありました。黒松の大きさも、大小不揃いで、近年植林されたものも多いと思われます。ハリエンジュも多数みられ、何故か、桜（ヤマザクラ？）が一本、孤軍奮闘していました。道路を挟んだ、稲毛2～3丁目の古い民家、明治4年創立の稲毛小学校を見ながら散策してから、車に分乗して、いなげ海浜公園へ移動しました。

昼食後、夏を思わせる太陽が照りつける中、人口海浜では、東京湾、横浜から木更津まで遠望できました。残念ながら、富士山は見えませんでした。日差しを避けながら、黒松の防風林を抜けて公園の林まで移動、キョウチクトウ・サンゴジュ・トベラ・カクレミノ・タブノキ・マテバシイ等々が観察できました。広場では、丸々太ったムクドリの大群にも遭遇しました。

最後に温室横の植物園で、ハーブ類・咲き残りのバラ・たわわに実をつけたハナモモ・・・と観察しました。今回は、フォローアップセミナーの実地研修も兼ねていた為か神社・建築・地理・植物・歴史・・・と中身の濃い内容でした。又、案内・説明いただいた、松島さんの生まれ育った思い出の場所を巡るコースにもなりました。

